

民法典って何ですか？

私たちはどうして民法典を知らなくてはならないのかしら？



民法典を知ること、社会の人々にとって、自身の権利や利益を守るため、また他人に利用されないために必要なことです。民法典は人々にとって日常生活の基準になりますから、社会の人々が民法典を知ると、国民としての権利義務を知ることになり、権利も守られるようになります。



民法典って何ですか？

民法典は、社会の人々の日々の暮らしに関係する様々な法律上のルールを集めてまとめたものです。例えば、物、所有権、家族、契約、遺産などなどに関わります。



民法典はどのような構成になっているんですか？何箇条あるんですか？



民法典は以下の9編からできています。

- 第I編 総則
- 第II編 人及び法人
- 第III編 家族
- 第IV編 物、所有権及び物に対するその他の権利
- 第V編 契約内債務
- 第VI編 契約外債務
- 第VII編 担保
- 第VIII編 相続
- 第IX編 最終規定

全9編で630箇条あります。

皆さんも条文を読み、ダウンロードすることができます。

QRコードを
スキャン



ログインして
ダウンロード



民法典というのは、社会の人々の暮らしにどう影響するのかわかる？

民法典は、社会の人々にとって、民事上の争いごとを解決するうえでの基準となりますし、誰かから権利や利益を侵害された場合に、保護される根拠となります。



民法典は、誰に適用されるんだい？

民法典は、自然人、法人、組織に適用されます。自然人については、生きて生まれたときから死ぬまで適用されます。



さらに皆さんは民法典やその他の法律をいつでもどこでもこのアプリから読むことができます。>> Lao Law << ここからダウンロードできます。



遺産

相続は、人が死亡し、遺産があり、相続人がいるときに発生します。そのルールや手続は、第VIII編に規定されています。



以下のVTRを見るには、QRコードをスキャンしてください。「民法典って何ですか？」

結婚

結婚は新しい権利義務をもたらします。例えばお互いに代理する権利、子どもを養育する義務、負債に対する共同の責任などです。詳細は第III編に規定されています。



出産

生きて出生すると、第III編に規定されているように権利能力を取得します。両親は、第III編に規定されているところから従って出生の登録をしなくてはなりません。



土地所有権の売買

売買は契約のひとつで、第VI編に規定されています。売り主と買い主は、第II編に規定されているように、行為能力を持つ者でなくてはなりません。



事故

事故は、財産、生命、健康及び精神に損害を与え、これらは民事上の責任と呼ばれます。誰がどのような責任を負うかについては、第VI編に定められています。



抵当

銀行で、土地を抵当に入れてお金を借ります。この場合、お金を借りることは契約の一つで、抵当もまた一つの契約です。抵当は特別な効果を持ちます。詳細は第VII編に規定されています。



土地の登記

適切に登記が行われると、所有権を取得することができます。詳細は第IV編に規定されています。

